

本棚の上に並べられている本を、今年は図書委員会メンバーが選出しています。黄色い表紙に金の文字がパッと目を引いた『元素生活 完全版』寄藤文平(431ヨ)は、中を開くと118の元素がそれぞれ擬人化され、かわいいイラストも満載です。それぞれの元素の密度や融点や沸点、原子量、中国語表記、発見年などが記載されており、しっかりと元素のことを学べます。学生時代にこの本があったら、私ももっと理科が好きになっていたかもしれません。ほかにも魅力的な本がたくさん並んでいます。また、窓に近い辞書コーナーの上に、図書委員からのおすすめ本コーナーもできました。今月のテーマは「青春」です。ぜひ、手に取ってみてください。司書

📖 お仕事小説 📖

お仕事の世界を描いた小説はたくさんありますが、Y校生の進路に本当にありそうな職業の本を集めてみました。



○真保裕一『こちら横浜市港湾局みなと振興課です』(913.6シ)

横浜市には、赤レンガ倉庫やぶかりさん橋などを担当する「横浜市港湾局みなと賑わい振興部賑わい振興課」という部署が実在するので、**横浜市の公務員**になったら、この小説のような日々が待っているかもしれません。

○高殿円『トッカン 特別国税徴収官』(913.6タ)

東京国税局の京橋税務署を舞台に、徴収官として働く25歳の主人公と、高校を出てすぐ国税局へと進んだ有能で冷血無比な34歳の男性上司が織りなす物語です。国税局の仕事や税金のことが少しわかった気になります。

○朱野帰子『駅物語』(913.6ア)

東京駅で働く女性が数々のトラブルに見舞われながらも成長していく物語です。早朝から終電まで、駅には毎日いろいろなことが起きているのだと感じました。東京駅が描かれた本の装丁も素敵です。

○佐藤青南『白バイガール』(913.6オ)

主人公は、**神奈川県警**の白バイ隊員の女性です。この界隈が多く登場するので、神奈川県警のお仕事が、ほんの少しだけでも見えたような気がします。

○有川浩『塩の街』『海の底』『空の中』(B913.6ア)

陸・海・空の自衛隊がテーマのそれぞれのお話は、自衛隊という堅さはまったくなくて、甘すぎるほどのラブストーリーにキュンキュンしっぱなしです。もちろん自衛隊を目指す方にもおすすめします。

○辻村深月『ハケンアニメ!』(913.6ツ)

アニメ制作会社が舞台の、現在公開中の映画「ハケンアニメ!」の原作本です。ハケン：覇権(視聴率1番を取ることを目指して作られた作品中の架空のアニメが、言葉だけで描かれているのにキラキラと魅力的です。

○有川ひろ『イマジン?』(913.6ア)

名前をひらがなへと改名した有川ひろが書く、**映像制作現場**で働く人の物語です。頑張って働くっていいなあ、と思える、読後感の良い作品です。過去にドラマ化された作品の裏話を見ているような楽しさもあります。

○青木祐子『これは経費で落ちません! 経理部の森若さん』(B913.6ア)

入浴剤などを扱う**企業の経理部**で働く女性が主人公のお話です。簿記の勉強が楽しい!と嬉しそうに電卓をたたいているY校生の将来はこんな感じでしょうか。就職後に一人暮らしを始めた様子もリアルに思えてきます。

○桂望実『ハタラクオトメ』 (913.6 カ)

時計メーカーの総務部人事課で働く主人公が、女性だけの商品開発チームのプロジェクトリーダーに抜擢されて奮闘するお話です。十数年前の作品ですが、現在では考えられないハラスメント表現にドキリとします。

○額賀滯『転職の魔王様』 (913.6 ヌ)

大手広告代理店を辞め、親類が経営する転職エージェント（転職活動を支援する人材紹介会社）で働くことになった女性が仕事にやり甲斐を見出していくお話です。仕事への姿勢を考えさせられます。

○大崎梢『横濱エトランゼ』 (913.6 オ)

アルバイトとして関内の小さな出版社で働く高校3年生の女の子が主人公のお話です。謎解き要素あり、恋愛あり、横浜のマニアックな歴史あり。このあたりに土地勘のあるY校生ならきっと楽しんで読めそうです。

📖 廣瀬俊朗さんの本 📖

元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗さんによる、スポーツマネジメント科を対象とした講演会が、中間テストの最終日に行われました。

廣瀬さんの著書『相談される力』(783 ヒ)には、講演のときの様子がそのまま浮かんでくるような、グッとくる言葉が並んでいます。「思い通りにならないことに学びがある」まさにその通りとわかっている、つい逃げ出さなくなってしまうとき、廣瀬さんの言葉を思い出したら、少しだけ頑張れるような気がします。多様性の大切さが描かれた『ぼくらのはばらばら』(絵本コーナー Eオ)は、チームっていいなあという気持ちが湧いてくる素敵な絵本です。この絵本にはサインもいただきました！

この春に行われた、廣瀬さんと神奈川大学の学生や横浜市西区長との「読書から学んだリーダーシップ」というトークセッションの様子が横浜市西区のYouTubeチャンネルで配信されていて、廣瀬さんの語る素敵な読書経験談を視聴することができます。



西区 元ラグビー日本代表に学生が聞く
読書から学んだリーダーシップ 🔍

📖 横浜市立中央図書館より 📖

横浜市中央図書館から「やってみよう！まわしよみ新聞」という高校生向けの楽しそうなイベントの案内があります。6/19 (日) 14:00-16:00 中央図書館にて、ニュースパーク (日本新聞博物館) の協力により、全国130紙の新聞を使って「押し記事」を集めた「まわしよみ新聞」を作成します。詳しいことは図書館のポスターか、こちらから → [やってみよう！まわしよみ新聞 🔍](#)



📖 今月のおすすめ本 📖

○『地球の歩き方 ムー ～異世界 (パラレルワールド) の歩き方～

超古代文明 オーバーツ 聖地 UFO UMA』地球の歩き方編集室 編 (290 ム)

ガイドブックの『地球の歩き方』とオカルト情報誌『月刊ムー』がコラボレーションした、世界の不思議が盛りだくさんの、異世界ぼうけんガイドブックです。1ページ目からワクワクする世界が広がります。何を信じるかはあなた次第です！

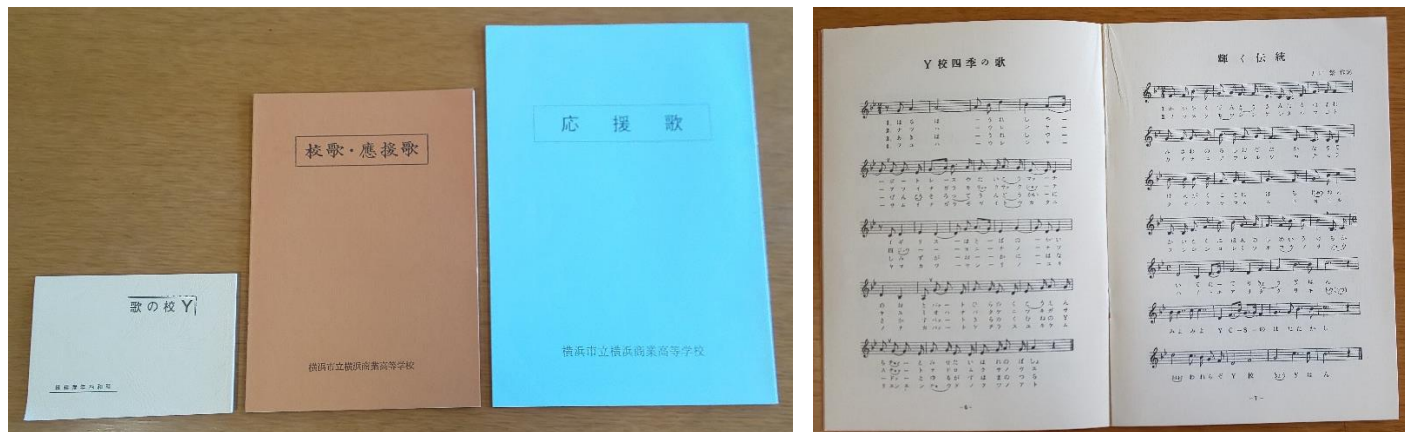


Y校は今年140周年

Y校アーカイブ vol. 10 「応援歌」

部活動にいそむY校生の姿に、いつも元気もらっています。横浜スタジアムでの硬式野球部の試合を観戦し、吹奏楽部やバトン部の熱の入った応援にも心が打たれました。軟式野球部や他の部活動の活躍も楽しみです。コロナ禍で声を出しての応援がままならないのですが、これから少しずつ緩和されて、応援歌を歌える機会がたくさんあることを期待しています。今回は、そんな応援歌集を特集します。

三種類の応援歌集が、図書館に保管されています。



手のひらサイズの小さな歌詞集「Y校の歌」は、昭和4年に発行されたものの復刻版で、28曲の応援歌の歌詞と、替え歌として応援歌に使用している「佐渡おけさ」の元歌の歌詞が掲載されています。

表紙に「校歌・応援歌」とある21cm×15cmの冊子には、校歌と、今でも歌われる「Y校の意気」「輝く伝統」「Y校健児の歌」など21曲の応援歌が楽譜とともに載っています。発行年などの記載がなく、いつ頃に出されたものかは不明ですが、「輝く伝統」の歌詞に「けんがくここにはちじゅうねん(建学ここに八十年)」とあるので、1965年(昭和40年)頃に発行されたものと思われます(右上の写真参照)。

一番新しい水色の冊子には21曲の応援歌が楽譜付きで収められています。こちらの「輝く伝統」の歌詞は「けんがくここにいっぴゃくねん(建学ここに一百年)」なので、40年ほど前のものでしょうか。ちなみに現在は、野球部応援団長に確認したところ、「建学ここに百四十」と歌っているそうです。

1964年にはレコードも作られています。校歌のほか12曲の応援歌が収められているLPレコードです。野球部の顧問の先生とこのレコードを聞いたとき、「輝く伝統」にY校短艇部歌とあるのを見て「野球部の歌ではなかったのか！」と驚かれていましたが、水色の冊子に(各部適用)とあったので、安心してどの部活動でも歌ってください。ボート部(端艇部)の記載が短艇部となっていますが、日本国語大辞典によるとどちらも同義のようです。



「Y校の意気」を口語訳したものが、Y校と横浜市大の卒業生の同窓会である「進交会」のホームページ内の「Y校会だより」15号に掲載されています。卒業生のY校愛を感じます。ぜひご覧ください。

[進交会](#)

